

Title	câwphraja thîphaakrawob, THE DYNASTIC CHRONICLES BANGKOK ERA THE FOURTH REIGN, B. E. 2394-2411 (A. D. 1851-1868) translated by Chadin (Kanjavanit) Flood Volume One, Volume Two (THE CENTRE FOR EAST ASIAN CULTURAL STUDIES)
Sub Title	
Author	木村, 宗吉(Kimura, Sokichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1966
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.39, No.2 (1966. 9) ,p.146(282)- 147(283)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19660900-0146

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

câwphraja thiphaakrawon
THE DYNASTIC CHRONICLES
BANGKOK ERA
THE FOURTH REIGN

B. E. 2394-2411 (A. D. 1851-1868)

translated by Chadin (Kanjavananit) Flood
Volume One, Volume Two (THE CENTRE FOR
EAST ASIAN CULTURAL STUDIES)

木 村 宗 吉

本書は、バンコク王朝ラーマ四世王(在位一八五一—一八六八)年代記の英訳であり、東アジア文化研究センター(東洋文庫内)刊行物の一つとして出版されたものである。本書第一巻は、四世王即位の一八五一年より一八六一年までの部分にあたり、昨年(一九六五年)の出版。第二巻は、一八六一年より四世王崩御の一八六八年に至る部分、今年(一九六六年)の出版である。第三巻は、来年、出版が予定されており、註・グロスリー・索引等にあてられることになっている。訳者 Chadin Flood 女史(タイ国人)は、バンコクのチュラーロンコーン大学を卒業した後、University of Washington (Seattle) に於て東南アジア史を研究した人。訳者が用いているテキストは、一九三四年、芸術局により校訂出版された「四世王年代記」の初版本である。タイ語の表記法は、

Mary Haas 教授が、"Thai-English Student's Dictionary (Stanford University Press: Stanford, California, 1964)" に於て用いた方法に従っている。

「四世王年代記」の著者チャオプラーヤー・ティパーコーラウォン(一八三〇)は、三世王時代から五世王時代の初期にかけて、政府の要職を歴任した政治家である。一八六九年、外国総監の職にあったティパーコーラウォンは、五世王すなわちチュラーロンコーン大王(在位一八六八—一九一〇)の命を奉じて、一世王より四世王までの「バンコク王朝年代記」の編纂に着手し、晩年二九年たらずの短時日のうちに、これを完成した。この年代記は、久しく王宮の御文庫に保存されていたが、その最初の部分すなわち「一世王年代記」は、一九〇一年、ダムロン親王の改訂により、印刷出版された。その後、「二世王年代記」は、一九一六年に至り、ダムロン親王の大改訂、というよりはダムロン親王著ともいべき形で出版された。ダムロン親王は、その後、ティパーコーラウォンの年代記の改訂を断念したものの如く、「三世王年代記」と今回英訳された「四世王年代記」は、一九三四年、芸術局の校訂により出版された。この刊本の文章は、原文のままであり、削除・加筆は、おこなわれていない。ただ、原文にない段落が設けられ、これに見出しが付けられている。また、日付を太陽曆に換算して、脚註として示している。——かくて、一世王より四世王までのバンコク王朝年代記は、ティパーコーラウォンが原稿を完成してから約六十五年を経て、全部出揃ったわけである。ティパーコーラウォ

ンの年代記は、あまりにも短時日の間に書かれたため、不備の点が多いが、しかし、これが唯一の官撰の年代記であるから、この時代の歴史を研究する者が、まず第一にみるべきものである。一世王から四世王までの年代記のうち、どの部分をまず翻訳すべきかは、意見の分れるところだが、——四世王の治世は、周知のように、タイ国開国期の重要な時代である。そして、著者テイパーコーラウォンは、この時代、政府の高官として、重要な国政に参与していた。同時代の政治家によって書かれたこの「四世王年代記」は、この時代の対外関係・国内政治・国家儀式等種々の知識を我々に提供する。

タイ国の歴史は、アユッタヤー時代にくらべ、バンコク王朝になると、信ずるに足る史料が豊富になる。しかしながら、従来、それらの史料を利用し得る者は限られていたわけだが、今回「四世王年代記」の英訳が出版され、この王朝の重要な一史料が紹介されたことは喜ばしい。来年出版される第三巻・註の部分を期待してやまない。なお、この紹介文を草するにあたり、石井米雄氏「タイ語文献について③」(「東南アジア研究」第二卷第二号)を参照したことを付記する。

彙報

第十四回早慶連合史学会

昭和四十一年六月十一日

於 慶応義塾大学三田 五二八教室

○研究発表

アラビアンナイトの発端話について

慶 応 石 井 道 彦氏

G・シュトレゼマンの政治活動とその理念

早 稲 田 室 潔氏

キリシタン時代における日本人のラテン語学習

慶 応 井 手 勝 美氏

キュリエン考

早 稲 田 吉 田 順 一氏

○公開講演

戦国武将と印章

早 稲 田 荻 野 三 七 彦氏